

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成 21 年 7 月 23 日 (2009.7.23)

【公表番号】特表 2008-545591 (P2008-545591A)

【公表日】平成 20 年 12 月 18 日 (2008.12.18)

【年通号数】公開・登録公報 2008-050

【出願番号】特願 2008-513890 (P2008-513890)

【国際特許分類】

B 6 5 D 83/00 (2006.01)

B 6 5 D 85/00 (2006.01)

A 6 1 L 9/12 (2006.01)

A 0 1 M 1/20 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 83/00 F

B 6 5 D 85/00 A

A 6 1 L 9/12

A 0 1 M 1/20 C

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 5 月 28 日 (2009.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所望の時間にわたり揮発性液体 (3) を周辺雰囲気中に分配するように適合された装置 (1) であって、

雰囲気に対して単一の開口を有する貯蔵器 (2) を含み、この開口は、装置が動作しているときには前記貯蔵器内の液体と接触していない透過性膜 (4) で閉止されており、前記膜は、厚さが 0.1 ~ 5 mm であり、また前記膜は前記液体と直接接触すると、所望の期間にわたって蒸発するある量の液体を吸収することができる、前記装置。

【請求項 2】

膜厚が、0.5 ~ 5 mm、好ましくは 0.2 ~ 3 mm、より好ましくは 0.6 ~ 2 mm、最も好ましくは 0.6 ~ 1.0 mm である、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

膜の材料が、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリブテン、ポリスチレン、エチレン/プロピレンコポリマー類、エチレン/ヘキシレンコポリマー類、エチレン/ブテンコポリマー類、プロピレン/ブテンコポリマー類、エチレン/プロピレン/ブテンコポリマー類、およびエチレンまたはプロピレンとエチレン不飽和のモノカルボン酸とのコポリマー類からなる群から選択され、膜の材料は好ましくは充填材入りである、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

膜が、微孔質の充填材入りポリオレフィンである、請求項 3 に記載の装置。

【請求項 5】

膜の材料が、主として、少なくとも 300,000 の分子量 (重量平均)、0.1 未満の標準荷重メルトインデックス、および 4.0 以上の還元粘度を有する 8 ~ 100 容量 % のポリオレフィンと、1 ~ 92 容量 % の充填材と、1 ~ 40 容量 % の可塑剤との均質な混

合物からなる、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

充填材が、 0.01 から約 $20\text{ }\mu\text{m}$ の範囲の平均粒度（直径）を有する、微粉シリカ（ケイ酸）であって、前記充填材の表面積が、 30 から $950\text{ m}^2/\text{g}$ の範囲、好ましくは少なくとも $100\text{ m}^2/\text{g}$ である、請求項 3 に記載の装置。

【請求項 7】

所望の時間にわたって揮発性液体を周辺雰囲気中に分配する方法であって、永久的に前記雰囲気に晒されない側の有孔質膜の面に、前記液体を供給することを含み、前記膜は、 $0.1 \sim 5\text{ mm}$ の厚さを有して、前記雰囲気に晒される側の前記膜の面から、所望の時間にわたって蒸発させるのに十分な液体を吸収することができる、前記方法。